

# 病害虫発生予察指導情報 (スイカうどんこ病)

令和8年6月12日  
鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

6月12日現在、一部の地域でスイカうどんこ病の発生量が増加している。向こう1か月の気象予報から、今後好適発病条件となることが予想される。ほ場をよく観察し、発生前から予防防除を徹底する。



写真1 うどんこ病罹病葉

## 2 情報の根拠

- (1) 本年のスイカうどんこ病は、平年並の発生量で推移していたが、6月上旬以降の気象経過により、発生量が増加している。
- (2) 6月4日頃(平年6月6日ごろ)に梅雨入りしたとみられ、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなる見込みである(気象庁広島地方气象台、2026年6月4日発表)。
- (3) 本病は、25℃付近が発病適温で、日照時間が少なく、湿度60～95%の好適条件下で孢子発芽する。飛散した孢子がふたたび分生子を形成するまでには5日程度要する。向こう1か月の気象予報から、本病の発生量はやや多いと予想される。

## 3 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内をよく観察し、表1に示す薬剤を発病前から予防的に防除する。
- (2) 発生が認められた場合は、カリグリーンの800倍液を散布する。
- (3) 薬剤耐性菌対策のため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。

表1 スイカうどんこ病に対して効果の高かった薬剤一覧(令和8年6月12日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期	総使用回数	FRAC <sup>(*1)</sup>
カリグリーン	800倍	収穫前日まで	-	F:NC
ショウチノスケフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回	F:U13,F:9
ベルコート水和剤	1000倍	収穫前日まで	4回	F:M07
パルミノ	2000倍	収穫3日前まで	5回	F:M10
トリフミン水和剤 <sup>(*2)</sup>	3000倍	収穫前日まで	5回	F:3
パンチョTF顆粒水和剤 <sup>(*2)</sup>	2000倍	収穫前日まで	2回	F:U06,F:3
スコア顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回	F:3
サンクリスタル乳剤	300倍	収穫前日まで	-	未分類
イオウフロアブル	500倍	発病前～発病初期	-	F:M02

\*1 農薬の作用機構分類、同じ番号は同一系統であることを示す。

\*2 トリフミン水和剤およびパンチョTF顆粒水和剤は同一成分を含むため、総使用回数に注意する。